

# LARC *Shield*

## ロールスクリーン ラルクシールド

ラルクシールド

### 取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

### 販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、  
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。



**警告**

コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。  
事故の恐れがあります。



日本ブラインド工業会

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の行為です。
	必ず実行していただく強制の行為です。

## ご使用になる前にお読みください

### 警告

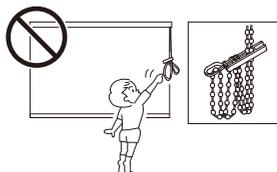


お子様やペットを製品に近づけないでください。  
操作チェーンが首や体に巻きつくなどして思わぬ事故をまねく恐れがあります。



操作時以外は操作チェーンをコードクリップでお子様の手の届かない位置に確実に束ねてください。お子様の手の届く位置で操作チェーンを束ねると、思わぬ事故をまねく恐れがあります。コードクリップは操作チェーンから外さないで使用してください。（チェーン操作、チェーン持出し操作、ワンタッチ操作の場合）

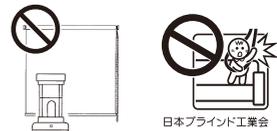
※コードクリップについて  
操作チェーンを危険のないようにたくし上げる部品です。小さなお子様がいる場合など手の届かない位置までたくし上げられます。



小さなお子様がいるご家庭では、製品の近くにソファやベッドを置かないでください。操作チェーンに手が届き、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



火のそばではご使用にならないでください。  
製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



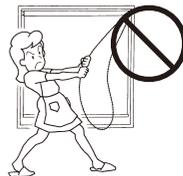
日本ブラインド工業会

## ご使用になる前にお読みください

### 注意



製品にぶら下がったり、無理に引っ張ったり、急激な操作をしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



製品の動く範囲内に人や動きを妨げるものがないようにしてください。けがをしたり、ものが破損する恐れがあります。



風の強いときは製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



ウェイトバーや生地、操作チェーン等製品を踏みつけたり、寄りかからないでください。製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



分解や改造をしないでください。製品が破損したり、落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

## お取付けになる前にお読みください

### 注意

-  製品重量に耐えられる下地に取付けてください。製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  電動工具をご使用になる場合、下地やビス、アンカーにあった適正なトルクで取付けてください。過度なビスの締め付けは下地やビスの破損により製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  取付けブラケット（天井付け・正面付け）で取付ける際、取付け面に指定のビス本数で全ての取付けブラケットを確実に固定してください。確実に固定されていないと、製品が落下し思わぬけがをすることがあります。
-  製品取付け時は、全ての取付けブラケットに製品が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

製品を持つ際はフレームを持たずに巻取り部を持ってください。フレームが変形し、取付けできなくなる恐れがあります。製品幅2705mm以上の場合は、製品本体中央部に紙巻きをしてあります。製品を取付け後に紙を外してください。

## 使用環境上のご注意（必ずお守りください）

---

### 注意

---

-  この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。
-  屋内であっても、特殊環境（温泉施設、高温多湿、極度の湿気、薬品のガス、公害、埃塵等）では使用できません。
-  水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。生地にシミ等が発生する場合があります。
-  窓を開けて直射日光を製品に長時間当てないでください。生地など部品が極端に退色したり、劣化が促進する場合があります。

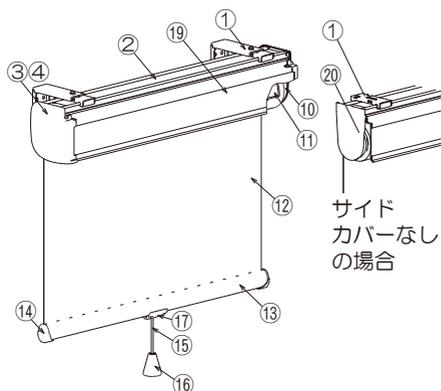
# 各部の名称

## ●プルコード操作

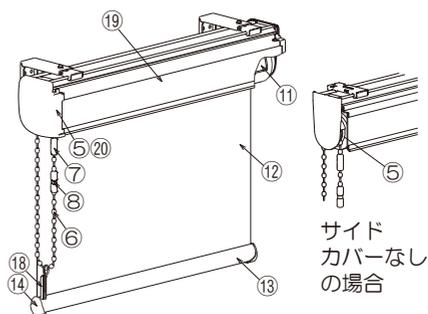
## ●プルコード操作

<リミットストッパー付き(オプション)>

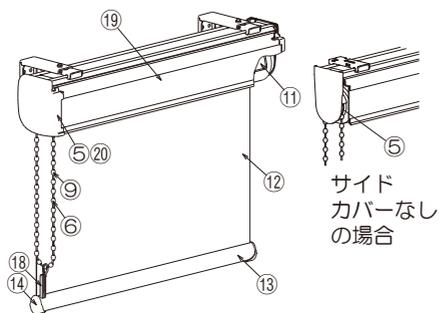
※図はウォッシュابل生地



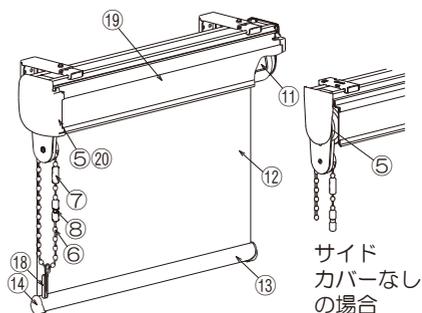
## ●チェーン操作



## ●ワンタッチ操作



## ●チェーン持出し操作



①取付けブラケット	⑧セーフティーコネクター	⑮プルコード
②フレーム	⑨セーフティーチェーン	⑯プル
③サイドブラケット	⑩調整ダイヤル※ <sup>1</sup>	⑰プルコードサポート※ <sup>2</sup>
④サイドカバー	⑪巻取りパイプ	⑱コードクリップ※ <sup>3</sup>
⑤操作部	⑫生地	⑲シールド
⑥操作チェーン	⑬ウェイトバー	⑳サイドブラケットカバー※ <sup>4</sup>
⑦コネクター	⑭ウェイトバーキャップ	

※1…リミットストッパーをオプション指定した場合のみ付属

※3…操作チェーンを束ねる際にお使い頂く、安全補助部品

※2…ウォッシュابل生地のみ付属

※4…サイドカバーがない場合のみ付属

# 各部の名称



ISO 22196

抗菌加工

無機抗菌剤

練り込み

JP0122984X00011

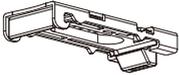
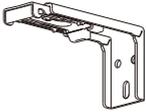
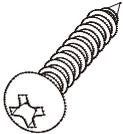
SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

	抗菌加工部位							
	操作チェーン※1	コネクター	セーフティコネクター	セーフティチェーン	コードクリップ	ブル	ブルコードサポート※2	ウエイトバーキャップ
ブルコード操作						●	●	●
ワンタッチチェーン操作	●			●	●			●
チェーン操作、チェーン持出し操作	●	●	●		●			●

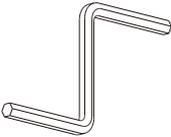
※1操作チェーン<オプションカラー>は抗菌SIAAマークの対象ではありません。

※2ブルコードサポートは、生地が「ポルテⅡ」でかつウエイトバー袋縫いの場合のみ、抗菌SIAAマークの対象となります。

# 付 属 品

部品名 製品幅 (mm)	取付けブラケット		ブラケット取付用ビス
	天井付け・正面付け	正面付け	
	正面付け補助金具を使用しない	正面付け補助金具を使用	
~ 1500			
1505 ~ 2500			
2505 ~ 2950			
2955 ~ 3000			
	2 個	2 個	
	3 個	3 個	4本 (6本) (※1)
	4 個	4 個	6本 (9本) (※1)
	5 個	5 個	8本 (12本) (※1)
			10本 (15本) (※1)

(※1) ( )内は正面付け (正面付け補助金具を使用) の場合

部品名	六角レンチ	巻きずれ調整用シール
		
数量	1本 (※2)	1枚

(※2) ウォッシュャブル生地のブルコード操作、ワンタッチ操作のみ付属されます。製品幅2705mm以上は付属されません。

# 製品の取付けかた

必要な工具：プラスドライバー、巻尺（スケール）

## 1) 製品の確認



**注意**

製品の変形、破損、付属品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんのでお買い上げいただいた販売店、最寄の弊社支店までご連絡ください。

## 2) 取付け下地の確認

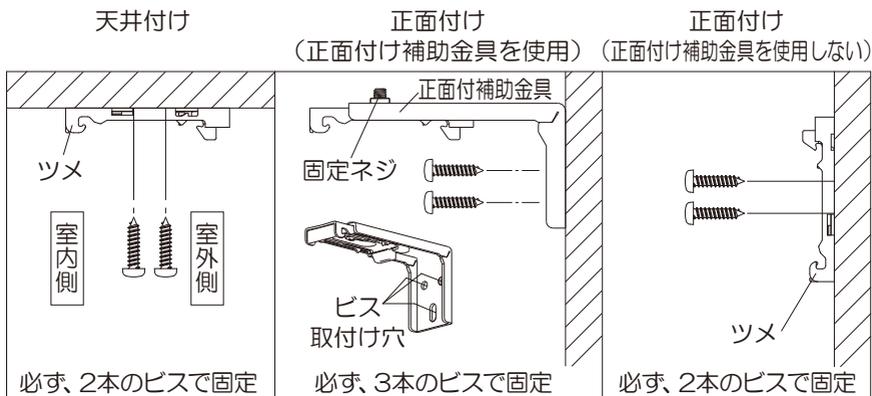


**注意**

- ・製品に付属しているビスは木部用ですので、木部以外の下地（石こうボード等）にご使用になれません。
- ・木部に取付ける時は、厚さが10mm以上であることを確認してください。
- ・石こうボード等で木部下地まで付属のビスが届かない場合は、別途長いビスをご使用ください。
- ・木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
- ・取付け部が水平になっているか確認してください。
- ・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

## 3) 取付けブラケットの取付け

- 取付けブラケットの取付け方には、以下の通りあります。



**注意**

取付けブラケットは以下の内容を順守して固定してください。製品が落下して思わぬ事故をまねく恐れがあります。

### 天井付け

取付けブラケットのツメは必ず室内側に向けて固定してください。

### 正面付け

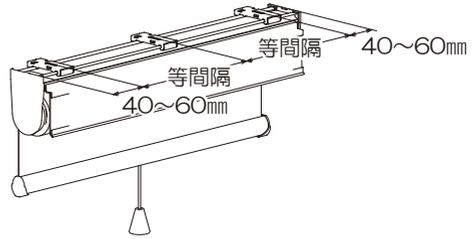
(正面付け補助金具を使用)  
正面付け補助金具の固定ネジは絶対にゆるめないでください。

### 正面付け

(正面付け補助金具を使用しない)  
取付けブラケットのツメは必ず下に向けて固定してください。

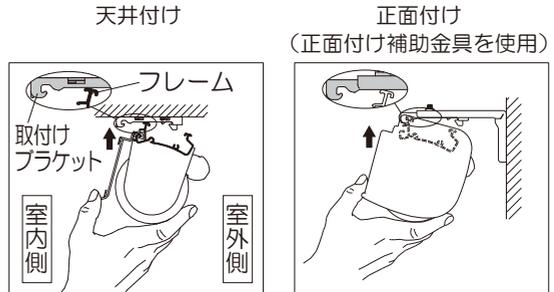
# 製品の取付けかた

- 取付けブラケットは取付け面に一直線上に並べて付属のビスで固定してください。
- <取付け間隔>
- まず、製品の左右両端からそれぞれ40~60mmの位置に取付け、ブラケットを付属のビスで固定してください。
  - 取付けブラケットが3個以上ある場合、取付けブラケットを付属のビスで等間隔に固定してください。



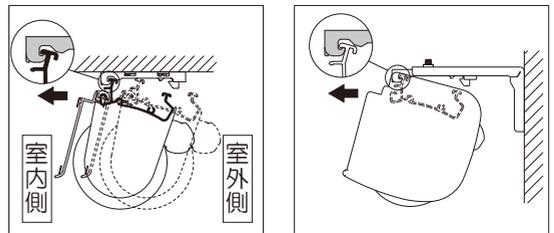
## 4) 製品の取付け <天井付け・正面付け(正面付け補助金具を使用)の場合>

- ① ロールスクリーン本体を図のように両手で持ち、フレームを取付けブラケットに当てて下さい。

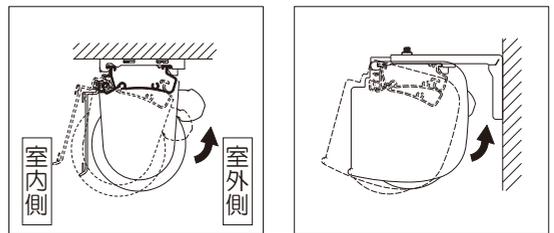


製品を持つときには、シールドの生地がずれないように注意して、取付けを行なってください。

- ② フレームを当てたまま手前に引き、取付けブラケットのツメに引っ掛けて下さい。  
\* 引っ掛けた状態で、左右の位置を調整することができます。

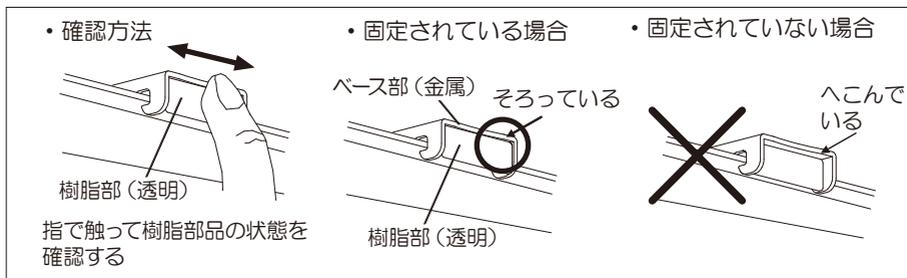


- ③ フレームを矢印の方向に持ち上げ、「カチッ」と音がするまで押しつけてください。

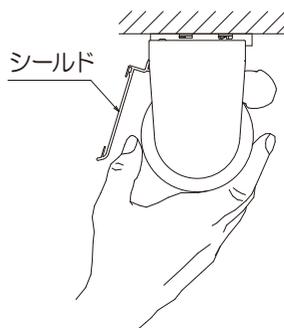


# 製品の取付けかた

④全ての取付けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。



⑤製品を各ブラケット位置で右図のように持ち軽く押しつけて製品が確実に取付けられていることを確認してください。シールドは持たないようにしてください。また、生地を汚さないよう注意してください。



**注意**

製品をしっかり支えて押してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

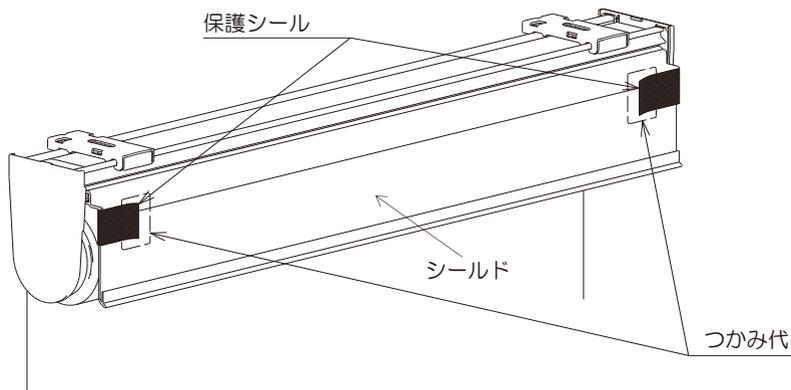
グラグラしたり、外れる場合→4) 製品の取付けに従い、正しく取付けてください。



**注意**

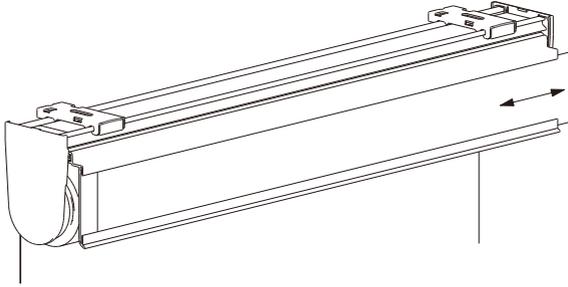
製品取付け時には、取付けブラケットに製品が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

⑥取付け後、シールド両端の保護シールのつかみ代を持ってゆっくりと剥がしてください。

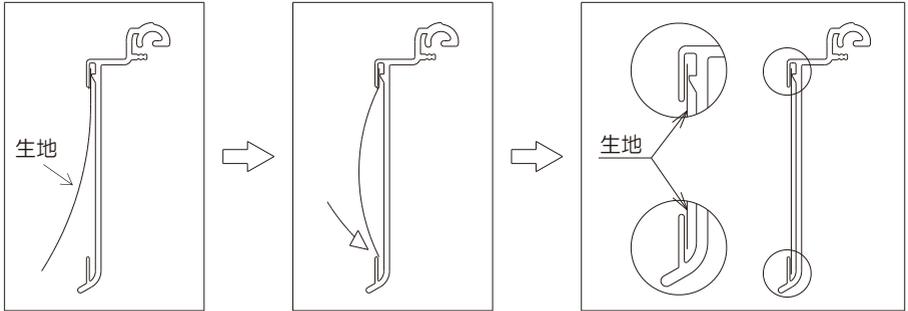


# 製品の取付けかた

施工時に生地が横にずれてしまった場合は、生地をスライドすることで直すことができます。

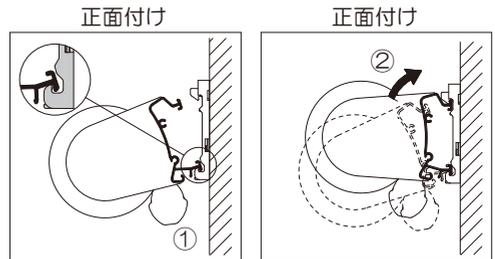


生地の上下が外れてしまった場合は、シールドの上下にある溝に生地を差しこむことで直すことができます。



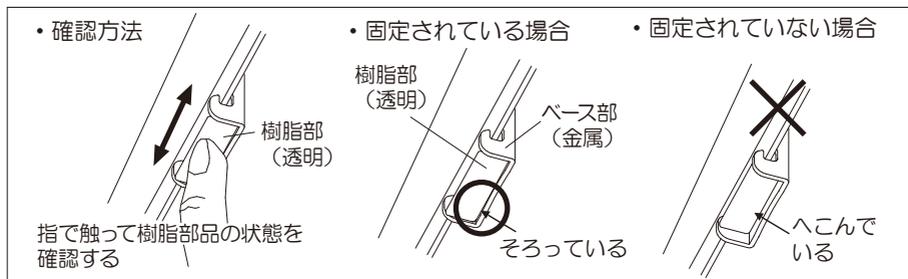
## 5) 製品の取付け <正面付け(正面付け補助金具を使用しない)の場合>

- ① ロールスクリーン本体を両手で持ち、取付けブラケットのツメにフレームを下から引っ掛けてください。  
\*引っ掛けた状態で、左右の位置を調整することができます。
- ② フレームを矢印の方向へ「カチッ」と音がするまで押しつけてください。



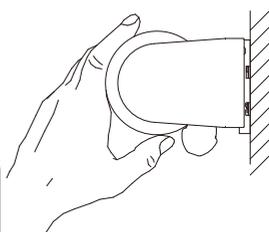
# 製品の取付けかた

③全ての取付けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。



④各ブラケットの位置で製品を右図のように持ち軽く押し上げて製品が確実に取付けられていることを確認してください。

生地を汚さないよう注意してください。



**注意**

製品をしっかり支えて押し上げてください。  
確実に固定されていないと製品が落下し、  
思わぬ事故をまねく恐れがあります。

グラグラしたり、外れる場合→5) 製品の取付けに従い、正しく取付けてください。



**注意**

製品取付け時には、取付けブラケットに製品が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

# 製品の取外しかた

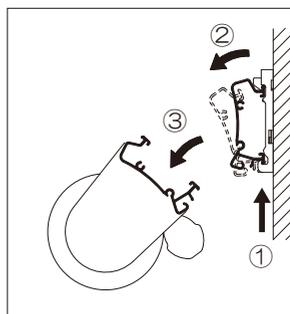
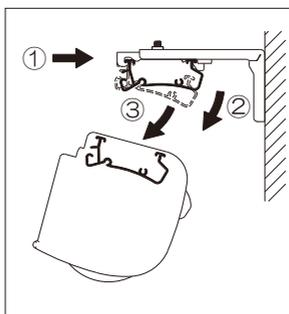
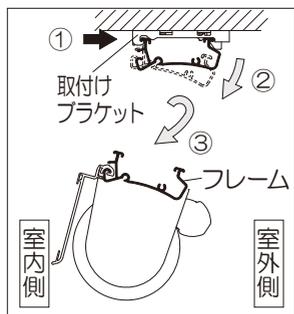
- ①取付けブラケットの樹脂部 (透明) を指で押しながら
- ②フレームを矢印の方向に傾けて
- ③取付けブラケットのツメからフレームを外して下さい。



天井付け

正面付け  
(正面付け補助金具を使用)

正面付け  
(正面付け補助金具を使用しない)



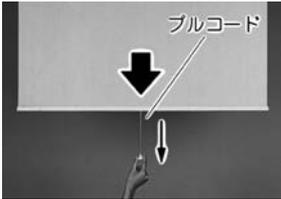
# 操作のしかた

操作方法は、プルコード操作、チェーン操作、チェーン持出し操作、ワンタッチ操作の4種類があります。

## ●プルコード操作

※昇降時、生地がシールドに触れてこすれる音が発生しますが、故障ではありません。

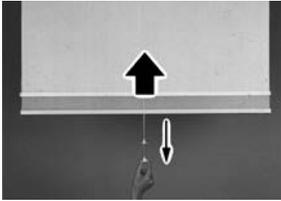
《降ろすとき》



プルコードを真下に引いて手を放すとその位置で止まります。

巻取りパイプが露出するまで生地を降ろさないでください。生地を巻き上げることができなくなる場合があります。

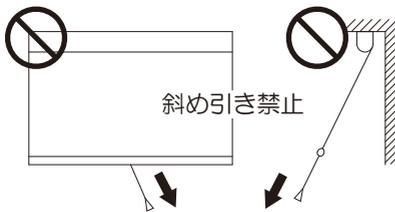
《上げるとき》



プルコードを真下に少し引いてから手を放すとゆっくり巻き上がります。途中で止める時は再びプルコードを少し真下に引くと止まります。

リミットストッパー（オプション）が装備されている製品は、設定した高さで生地が止まります。（23ページ参照）

プルコードは斜めに引かないでください。プルコードがウェイトバーの中心にある状態で真下に引いてください。また、ウェイトバーを手で持って操作しないでください。ウェイトバーの中心を引いて操作しないと巻きずれする原因となります。

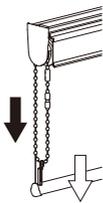
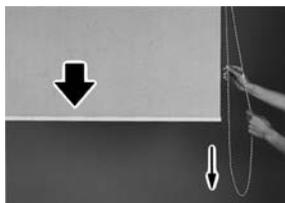


# 操作のしかた

## ●チェーン操作・チェーン持出し操作

※昇降時、生地がシールドに触れてこすれる音が発生しますが、故障ではありません。

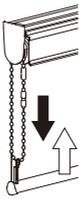
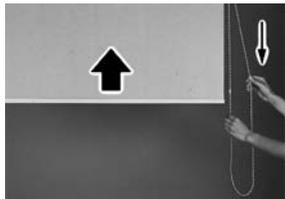
《降ろすとき》



奥(室外側)※の操作チェーンを真下に引き続けると生地が降り、引くのをやめるとその位置で止めることができます。

※逆巻き使い(オプション)の場合は、手前(室内側)

《上げるとき》



手前(室内側)※の操作チェーンを真下に引き続けると生地が巻き上がり、引くのをやめるとその位置で止めることができます。

※逆巻き使い(オプション)の場合は、奥(室外側)

逆巻き使い(オプション)の場合は、生地が上まで完全に巻き上がりません。止まった位置からチェーンを引かないでください。

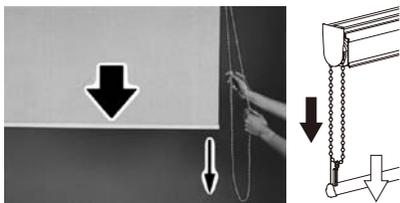
- 操作チェーンは真下にゆっくり引いて操作してください。急激に操作したり、操作チェーンを斜めに引くと巻きずれや製品破損の原因になります。
- 生地が降りきると操作チェーンを引くことができなくなりますので、無理に引続けないでください。さらに引続けると部品破損により生地が逆巻き(奥(室外側)の操作チェーンを引いても生地が上がる状態)になり、製品破損の原因になります。
- 生地の上昇操作は操作チェーンを引いておこなってください。生地やウェイトバーを引くと製品破損の原因になります。

# 操作のしかた

## ●ワンタッチ操作

※昇降時、生地がシールドに触れてこすれる音が発生しますが、故障ではありません。

《降ろすとき》



奥（室外側）※ の操作チェーンを真下に引き続けると生地が降り、引くのをやめるとその位置で止めることができます。

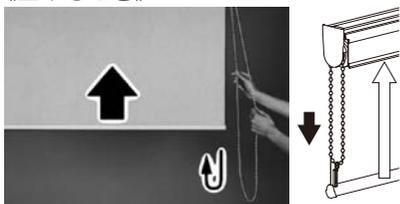
※逆巻き使い(オプション)の場合は、手前（室内側）



**注意**

巻取りパイプが露出するまで生地を下ろさないでください。そのまま操作チェーンを引続けると生地が巻取りパイプに逆に巻き取られ、生地を上げるときには生地が急激に落下し、危険です。

《上げるとき》



奥（室外側）※ の操作チェーンを少し引いてから手を放すと巻き上がります。途中で止める時は、再び奥（室外側）の操作チェーンを少し引いて（生地が少し下がります）手を放すと止まります。

※逆巻き使い(オプション)の場合は、手前（室内側）

- 操作チェーンは真下にゆっくり引いて操作してください。急激な操作や操作チェーンの斜め引きは巻きすれや製品破損の原因になります。
- 生地の上昇操作は操作チェーンを引いておこなってください。生地やウェイトバーを引くと製品破損の原因になります。

## ＜チェーン操作・チェーン持出し操作・ワンタッチ操作の場合＞



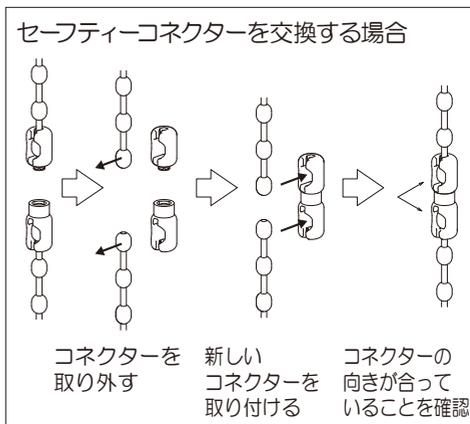
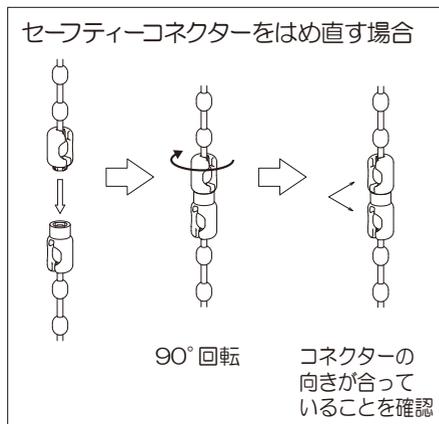
**注意**

- 小さなお子様がいる場合、操作をしない時は必ずコードクリップで操作チェーンをお子様の手の届かないところでたばねてください。
- 奥と手前の操作チェーンを同時に引かないでください。製品破損や製品落下の原因になり、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

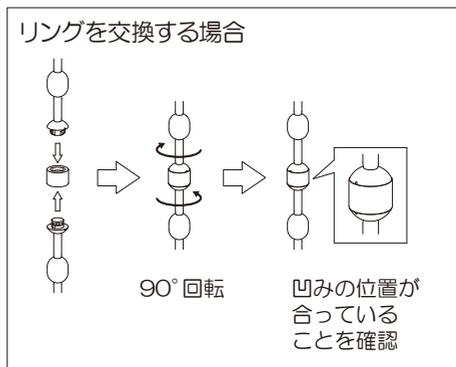
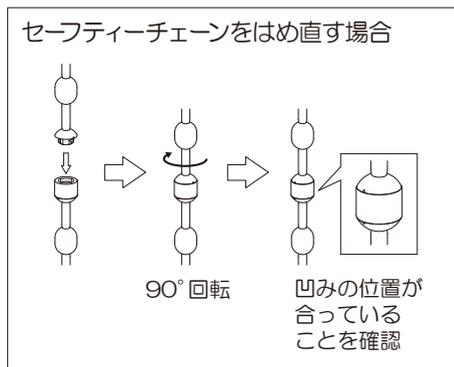
# 操作のしかた

※操作チェーンには「セーフティーコネクタ―」または「セーフティーチェーン」を組み込んでいます。これは、操作チェーンに通常操作以上の負荷が掛かった場合などに操作チェーンを分割させる仕組みの部品です。操作チェーンが何かに引掛かったりして操作中に外れてしまった場合、はめ直してご使用いただけますが、分割しやすくなる場合がありますので、「セーフティーコネクタ―」または「リング」を交換する必要があります。お買い上げいただいた販売店・最寄りの弊社支店までご連絡ください。

## 《チェーン操作》



## 《ワンタッチ操作》



# 巻取りスピードの調整のしかた

製品出荷時にスプリングの調整をおこなっていますが、生地の巻取りスピードや操作力を変えたい場合、また完全に巻き上がらない場合は、以下の方法で調整をおこなってください。

## ●調整方法

必要な工具：六角レンチ(3mm)\*またはマイナスドライバー

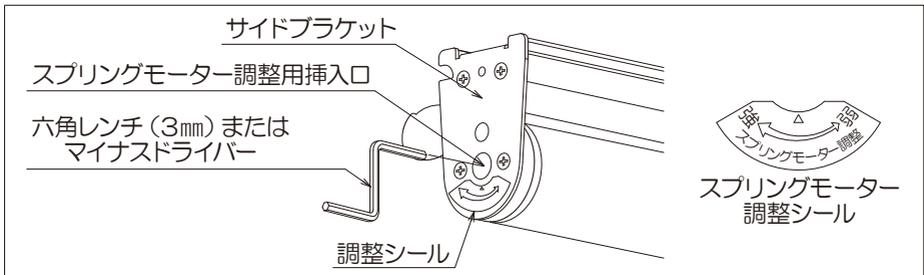
※ウォッシュابل生地でプルコード操作またはワンタッチ操作には付属

下表を参考に、調整位置側のサイドカバーまたはサイドブラケットカバーを外し(17ページ参照)、六角レンチまたはマイナスドライバーで【強】または【弱】の方向にまわしてください。

操作方式	調整位置	まわす方向	
		強	弱
プルコード操作	製品を正面から見て左側	巻取りスピードを速くする スプリングの初期巻きをする	巻取りスピードを遅くする
ワンタッチ操作			
チェーン操作※	操作チェーンのない側	巻取り時の操作力を軽くする	下降時の操作力を軽くする

※製品幅が450mm以下の場合等には、スプリングが入らないため、調整はできません(チェーン操作のみ)。

※製品幅が2705mm以上の場合等には調整はできません(チェーン操作のみ)。



※図はシールドなし

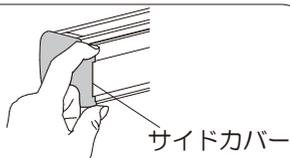
過度にスプリングを強くすると製品破損の原因になります。生地の巻取りスピードや操作力を確認しながら、調整をおこなってください。

# サイドカバー又はサイドブラケットカバーの取外しかた

製品のメンテナンスのため製品に付いているサイドカバーおよびサイドブラケットカバーの取外しが必要な場合があります。

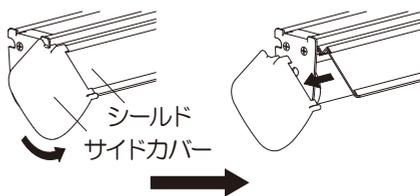
## 1) サイドカバーの取付け・取外しかた

サイドカバーは必ず右図の様に持って作業をおこなってください。  
他の箇所を持つとサイドカバーが破損する場合があります。



### ①取外しかた

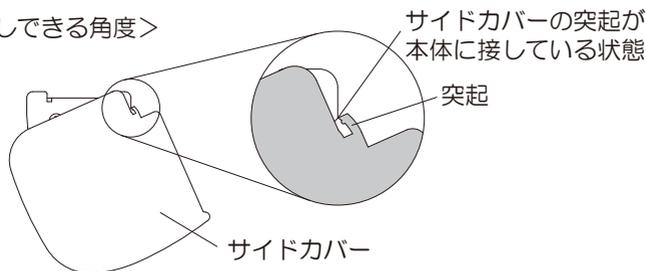
右図のように、シールドごとサイドカバーを矢印方向に持ち上げます。下図「付け外しできる角度」の状態です。サイドカバーをシールドから引き抜きます。サイドカバーが本体に引っかかる場合は「付け外しできる角度」ではありません。



### 注意

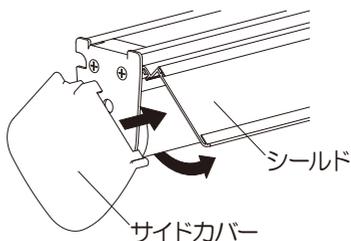
サイドカバーが本体に引っかかる状態で無理に外そうとするとサイドカバーが破損する恐れがあります。

<付け外しできる角度>



### ②取付けかた

右図の通り、シールドを持ち上げます。持ち上げた状態でサイドカバーをシールドに元通りに組合せます。組合せる角度は①取外しかたと同様に「付け外しできる角度」に合わせてシールドを持ち上げてください。サイドカバーが本体に引っかかる場合は「付け外しできる角度」ではありません。



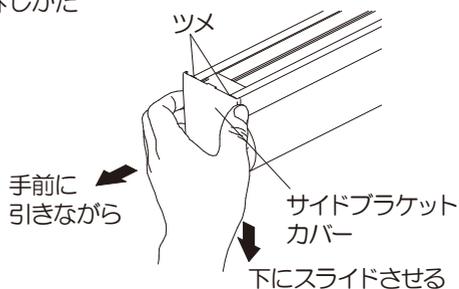
作業中にシールドの生地が外れる場合がありますが、元通りシールド上下の溝に生地を差し込んでください。

# サイドカバー又はサイドブラケットカバーの取外しかた

## 2) サイドブラケットカバーの取付け・取外しかた

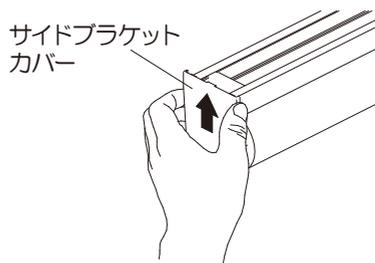
### ①取外しかた

右図の通り、サイドブラケットカバーを持ち、サイドブラケットカバーの内側にあるツメを外すように手前に引きながら下に向けてスライドさせて外します。



### ②取付けかた

右図の通り、サイドブラケットカバーを持ち、下から矢印方向にスライドさせて取付けます。



作業中にシールドの生地が外れる場合がありますが、元通りシールド上下の溝に生地を差し込んでください。

# 正面付け（正面付け補助金具なし）への切換えのしかた

ワンタッチ操作・チェーン操作は、天井付け・正面付けを切り替えることができます。  
※正面付けに切換えると、シールドおよびサイドカバーを取付けることはできませんので  
ご注意ください。

必要な工具：プラスドライバー、マイナスドライバー

## ●ワンタッチ操作の切替え方法（操作チェーン側の側面で切り替えます）

- 1) 製品を取付けブラケットから取外します。  
(11ページ参照)
- 2) サイドカバーなしの場合、操作側（操作チェーン側）のサイドブラケットカバーを取外します。（18ページ参照）
- 3) シールド付きの場合、両側のサイドカバーまたは、右側のサイドブラケットカバーを取外し（17ページ参照）、右側からシールドを抜いて、取外します。（図1参照）  
(左側からは取外せません)
- 4) プーリーカバーを外します。操作側にあるプーリーカバーの上端のツメの下にマイナスドライバーを差し込み、マイナスドライバーをねじるようにして、開いた状態にします。  
(図2参照)
- 5) フレームを90°回転させます。  
フレームを図のように奥側に90°回転させます。（図3参照）
- 6) プーリーカバーを固定します。（図4参照）
  - ①プーリーカバーのローレット(ギザギザ)が図のように真下にくるようにして、プーリーカバー凸部をプーリーの凹部に合わせ
  - ②図の矢印の方向に力を加えながら
  - ③最後に矢印の方向から押し込み、プーリーカバーのツメを引掛けて固定します。※この時プーリーカバーのツメが確実に引掛かっていることを確認してください。  
※サイドブラケットは外さないでください。
- 7) サイドブラケットカバーを取付けます。  
(18ページ参照)  
※切替え後は、シールドを取付けられませんので、サイドカバーの取付けは不要です。

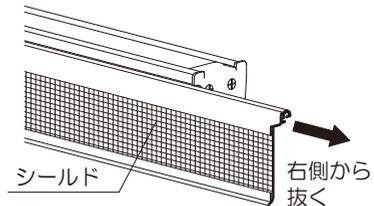


図1

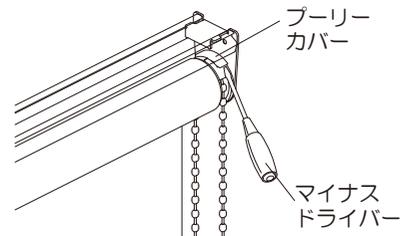


図2

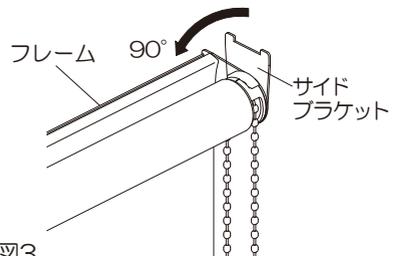


図3

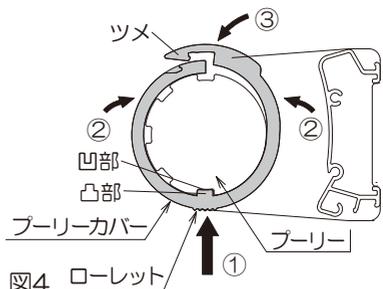


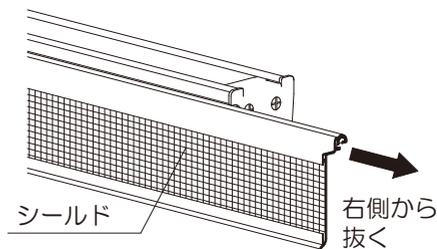
図4

# 正面付け（正面付け補助金具なし）への切換えのしかた

## ●チェーン操作の切り替え方法（操作チェーン側の側面で切り替えます）

1) 製品を取付けブラケットから取外します。  
（11ページ参照）

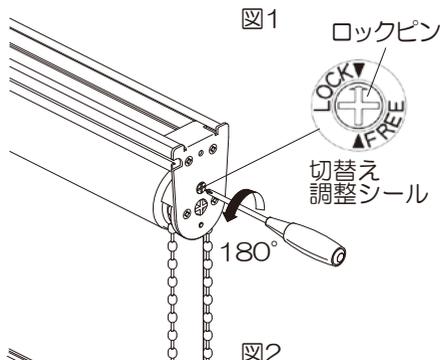
2) サイドカバーなしの場合、操作側（操作チェーン側）のサイドブラケットカバーを取外します。（18ページ参照）



3) シールド付きの場合、両側のサイドカバーまたは、右側のサイドブラケットカバーを取外し（17ページ参照）、右側からシールドを抜いて、取外します。

（図1参照）

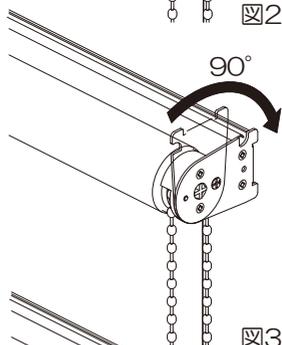
（左側からは取外せません）



4) ロックピンを解除します。

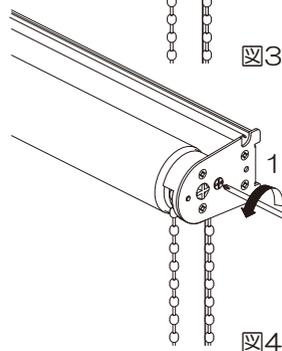
操作側のサイドブラケットに付いているロックピンをプラスドライバーで180°回転させ、矢印をLOCKの状態からFREEの状態にします。（図2参照）

※ロックピン以外のネジを絶対に回さないでください。



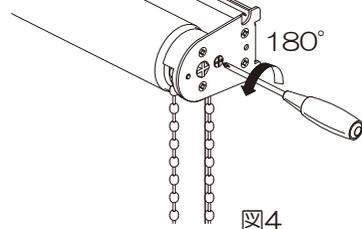
5) フレームを90°回転させます。

フレームを図のように奥側に90°回転させます。（図3参照）



6) ロックピンを固定します。

ロックピンの矢印をプラスドライバーでFREEの状態からLOCKの状態に180°回転させます。（図4参照）



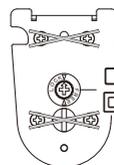
# 正面付け（正面付け補助金具なし）への切換えのしかた

7) サイドブラケットカバーを取付けます。（18ページ参照）

※切替え後は、シールドを取付けられませんので、サイドカバーの取付けは不要です。



サイドブラケットのネジは絶対にゆるめないでください。ネジをゆるめると製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



ロックピン以外を回してはダメ

## ワンタッチ操作左右転換のしかた

ワンタッチ操作は操作位置の変更ができます。

必要な工具：マイナスドライバー

### ●右操作から左操作への切り替え方法

1) 製品を取付けブラケットから取外します。（11ページ参照）

2) 両側のサイドカバーまたはサイドブラケットカバーを取外します。（17ページ参照）

3) シールド付きの場合、右側からシールドを抜いて、取外します。（図1参照）（左側から外せません）

4) プーリーカバーを外します。  
操作側にあるプーリーカバーのツメの下にマイナスドライバーを差し込み、ドライバーをねじるようにして開き、取外します。（図2参照）

5) シャフトカバーを外します。  
非操作側についているシャフトカバーを図のように製品の裏側からマイナスドライバーで外します。（図3参照）

6) 操作チェーンを反対側に移動させます。（図4参照）

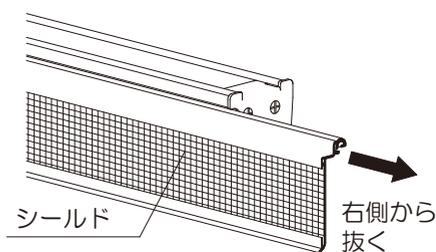


図1

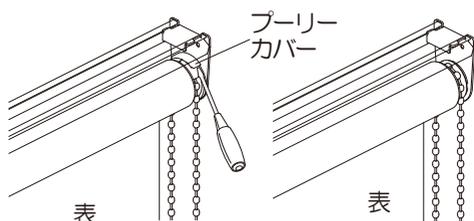


図2

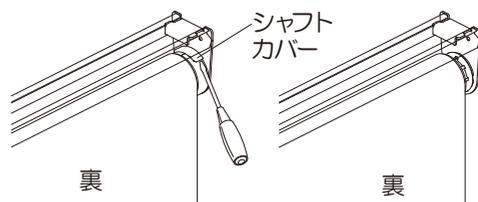


図3

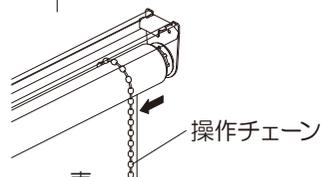
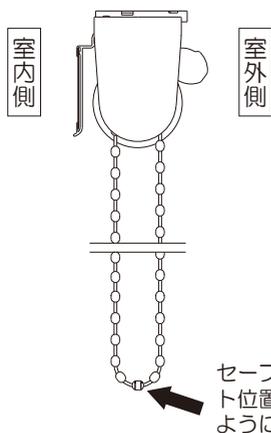


図4

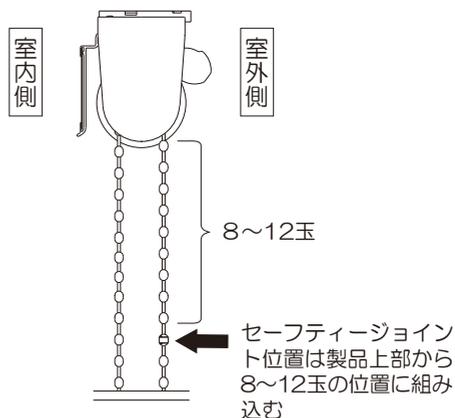
# ワンタッチ操作左右転換のしかた

※操作チェーンを移動させた際、セーフティジョイント位置が生地を巻き上げた状態で最下部になるように組み込んでください。

※製品高さ800mm以下の場合、セーフティジョイント位置が生地を巻き上げた状態で製品上部（室外側）から8～12玉の位置になるように操作チェーンを組み込んでください。

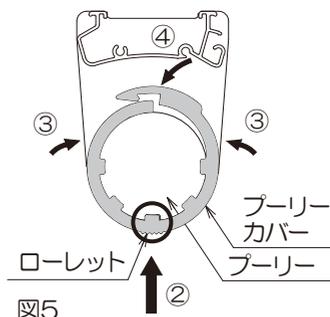


製品高さ800mm以下の場合



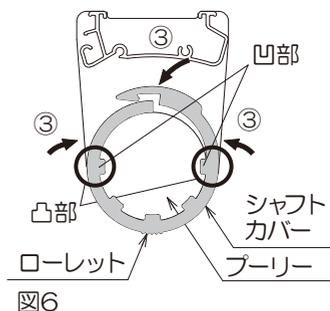
7) プーリーカバーを取付けます。(図5参照)

- ①プーリーカバーを移動した操作チェーン側に、図のような方向で差し込みます。
- ②プーリーカバーのローレット(ギザギザ)を図のように真下にして、プーリーカバーの凸部をプーリーの凹部に合わせ、
- ③図の矢印の方向に力を加えながら
- ④図の矢印の方向(製品正面)から押し込み、プーリーカバーのツメを引掛けて固定します。



8) シャフトカバーを取付けます。(図6参照)

- ①シャフトカバーを操作チェーンと反対側に、図のような方向で差し込みます。
- ②シャフトカバーのローレット(ギザギザ)を真下にして、シャフトカバーの凸部2箇所をプーリーの凹部2箇所に合わせ
- ③図のように矢印の方向からはめ込みます。



9) シールドを元通り取付け、サイドカバーまたはサイドブラケットカバーを取付けます。

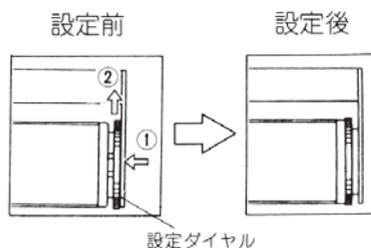
(17ページ参照)

# リミットストッパー(オプション)の設定のしかた

プルコード操作でリミットストッパー(オプション)を選択した場合のみ、生地巻き上げ時の停止位置をお好きな高さに設定できます。

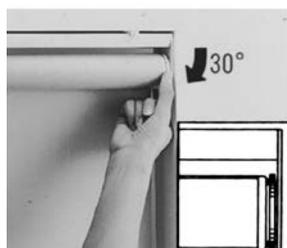
## ●設定のしかた

- 1) 製品を取り付けた状態で止めたい位置(巻き上げ時の停止位置)まで生地を降ろしてください。
- 2) 製品右側の設定ダイヤルを、①生地側に押しながら②手前から奥へ約60°(回転の止まる位置まで)まわします。



## ●微調整のしかた

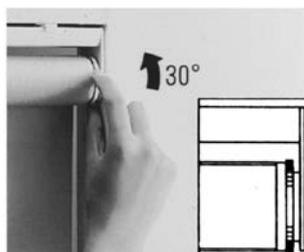
- 1) 設定された状態から、設定ダイヤルを手前に30°まわすと、微調整が可能な状態になります。



- 2) ご希望の停止位置まで、手で巻取りパイプを回転させ微調整してください(手でウェイトバーを下に引いても可)。



- 3) 設定ダイヤルを再び、手前から奥へ30°(回転の止まる位置まで)まわせば設定されます。

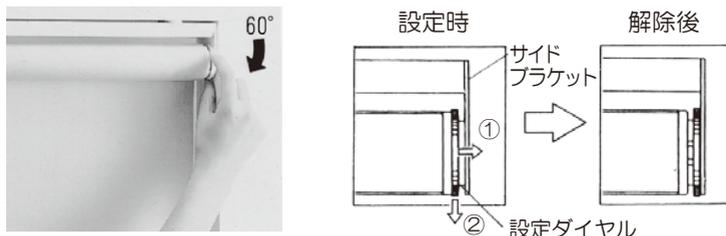


※図・写真はシールドなし

# リミットストッパー(オプション)の設定のしかた

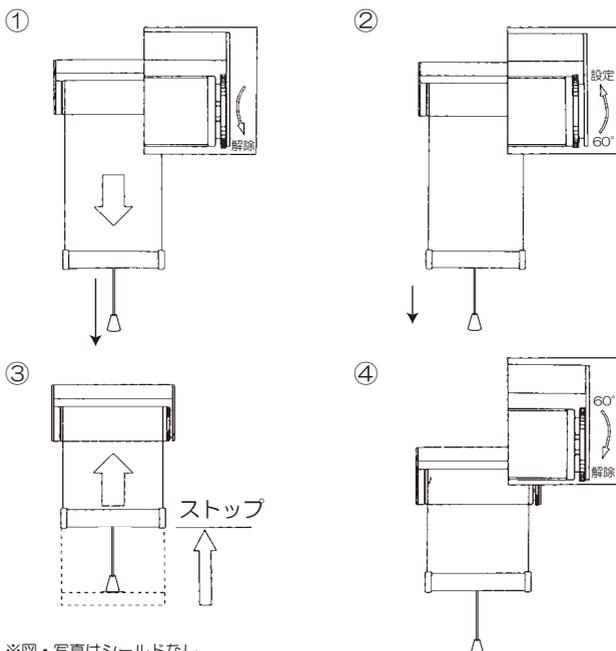
## ●解除のしかた

- 1) 生地をリミットストッパーの設定位置まで巻き上げてください。
- 2) 設定ダイヤルを、①サイドブラケット側に引きながら②手前へ約60°(回転の止まる位置まで)まわすと解除されます。



※リミットストッパーの設定位置以外で解除すると、次に設定しても設定位置に止まりません。その場合、以下の手順で操作を行ってください。

- ①設定ダイヤルを解除状態にして、生地を一番下まで降ろしてください。
- ②設定ダイヤルを奥に60°まわし、設定状態にして巻き上げてください。
- ③巻き上り途中でストップします。(途中でストップしない場合は①、②を繰り返してください)
- ④③の状態の設定ダイヤルを手前に60°まわし、解除状態にします。
- ⑤前ページの設定方法にしたいが、再度設定をおこなってください。



※図・写真はシールドなし

※生地名「プーロ」はウォッシュャブル生地ですが、洗濯によりはっ水性・抗かび性能が低下しますので、十分ご理解の上、実施願います。

※シールドの生地部は洗濯できません。シールドから生地を外すと破れたり、ほつれるおそれがあります。

### ●生地の取外し方

必要な工具：六角レンチ(3mm)※プルコード操作、ワンタッチ操作のみ

1) 製品を取外します。

製品を取付けブラケットから取外してください。(11ページ参照)

2) 左側のサイドカバーまたは、サイドブラケットカバーを取外します。(17ページ参照)

〔対象：プルコード操作・ワンタッチ操作のみ、チェーン操作・チェーン持出し操作は、3)へ進んでください。〕

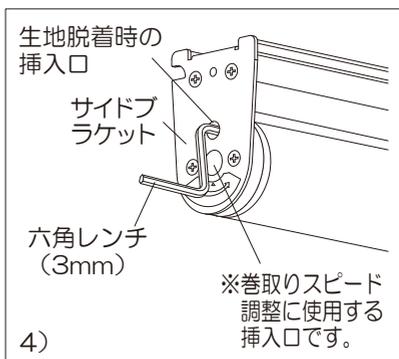
3) 生地を全て引き出します。

巻取りパイプが露出するまで生地を引き出します。

※プルコード操作・ワンタッチ操作の場合は、この状態で生地が巻き戻らない位置で止めてください。

4) 巻取りパイプを固定します。

〔対象：プルコード操作・ワンタッチ操作のみ、チェーン操作・チェーン持出し操作は、5)へ進んでください。〕

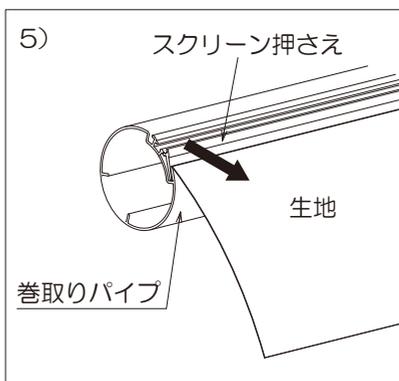


製品を正面から見て、左側のサイドブラケット側面上側の挿入口に、製品購入時に付属の六角レンチ(3mm)を押し込みます。

※六角レンチ以外のものを押し込むと、故障の原因になりますのでおやめください。

※確実に六角レンチを押し込んでいないと、巻取りパイプが自動的に逆回転し、初期巻きが解除されます。

洗濯後、本体に生地をセットするまで六角レンチを抜かないようにしてください。



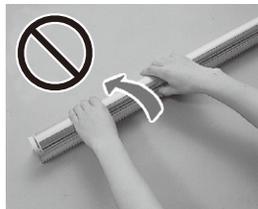
※図はシールドなし

5) 生地を巻取りパイプから取外します。

スクリーン押さえのつばの部分巻取りパイプの端から引っばると生地ごとはがれます。

### ⚠ 注意

- ・サイドブラケットについているネジは絶対にゆるめないでください。ネジをゆるめると製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
  - ・プルコード操作・ワンタッチ操作の場合、下図のようにパイプをまわさないでください。ストッパーが解除され、巻取りパイプが、急に回転し、けがをする恐れがあります。
- ※ストッパーが解除され、巻取りパイプが回転してしまった場合、巻取りパイプのスプリングの初期巻きが解除されてしまいます。26ページの<初期巻きを解除した場合の調整方法>の通り、調整してください。



※写真はシールドなし

### ●初期巻きを解除した場合の調整方法（※プルコード操作・ワンタッチ操作のみ）

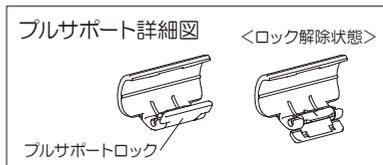
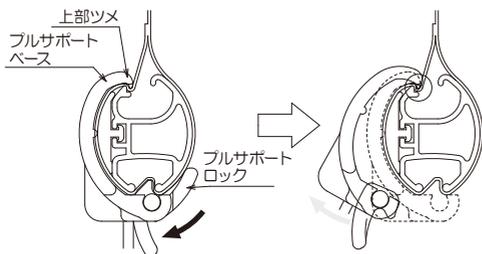
- ①洗濯後の生地を本体へのセット方法（28ページ参照）にしたがって、スクリーン押さえを巻取りパイプの溝にはめ込んでください。
- ②巻取りスピードの調整位置（16ページ参照）のサイドカバーまたはサイドブラケットカバーを外し（17ページ参照）、六角レンチまたはマイナスドライバーで【強】の方向にまわしてください。（製品のフレームを持ち、2人以上でおこなってください）このとき、巻取りパイプが回転し生地が巻き取られますので、生地が完全に巻き取られるまで回転させてください。

以上で通常の状態に戻りますが、何度か昇降し巻取りスピードの調整（16ページ参照）をおこなってください。なお、生地巻きずれが発生している場合、製品購入時に付属の巻きずれ調整シールにて調整してください。

6) プルコードサポートを取外します。

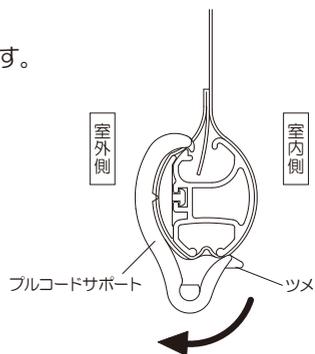
（※プルコード操作、ウェイトバー袋縫いの場合のみ）

室内側についているプルサポートロックを押下げ、プルサポートベースを後方に外します。



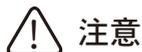
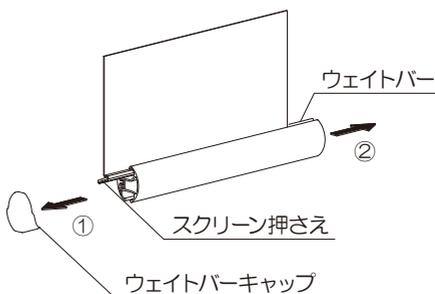
＜コットンプル、プルハンドルの場合＞

室内側についているツメを押しながら室外側に外します。



7) ウェイトバーを取外します。

- ① ウェイトバーの端部のウェイトバーキャップを取外し
- ② ウェイトバーをヨコ方向にスライドさせて抜取ります。



**注意**

- 取外したウェイトバーの端部を不用意に扱わないでください。不用意に扱うと、思わぬけがをする恐れがあります。
- 取外したウェイトバーキャップ、ウェイトバーはお子様がふれないように保管してください。誤飲やけがをする恐れがあります。

### ●生地洗濯

《注意事項》

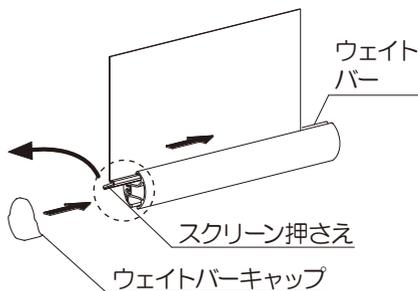
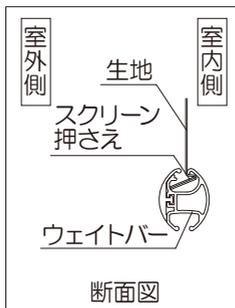
- 生地の一部が汚れた場合でも、部分的に拭き取りをせずに丸洗いしてください。
- 衣類など他のものと一緒に洗わないでください。
- 生地はネットに入れたり、強く折りたたんだりすると折りじわが残る可能性があります。自然な状態（ふんわりとした状態等）で洗濯機に入れてください。
- 生地洗濯は生地に縫付けられている取扱い表示ラベルに従っておこなってください。
- アイロンをかける場合、スクリーン押さえには、アイロンをあてる等、熱を加えないでください。

## ●洗濯後の生地本体へのセット方法

1) 乾燥後の生地下部にウェイトバーを取付けます。

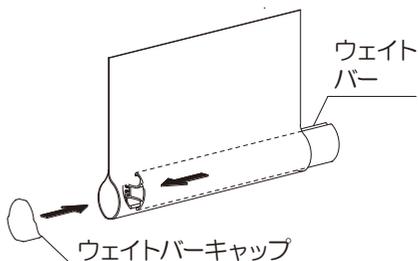
《ウェイトバー露出の場合》

スクリーン押さえの向きに注意しながら、生地をウェイトバーに挿入し、両側のウェイトバーキャップをはめ込みます。



《ウェイトバー袋縫いの場合》

生地の袋縫い部分に、ウェイトバーを挿入し、両側のウェイトバーキャップをはめ込みます。



### ⚠ 注意

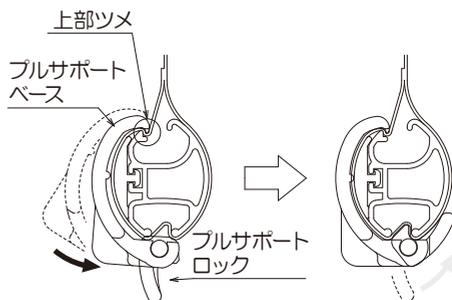
- ウェイトバーを生地に取付ける時は、ウェイトバーの端部を不用意に扱わないでください。不用意に扱うと思わぬけがをすることがあります。
- ウェイトバーキャップは必ず、ウェイトバーに取付けてください。ウェイトバーキャップを取付けていないとウェイトバーの端部が露出し、思わぬけがをすることがあります。

2) プルコードサポートを取付けます。

(※プルコード操作、ウェイトバー袋縫いの場合のみ)

プルサポートベースの上部ツメをウェイトバーの室外側上端に引掛け、手前に引き、室内側にあるプルサポートロックを押上げます。

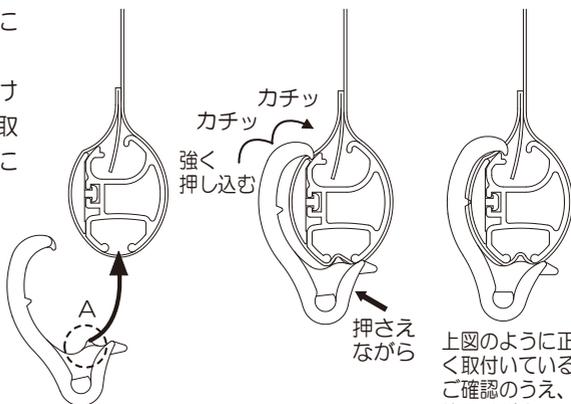
※プルコードサポートは必ず幅方向の中央に取付けてください。中央以外に取付けると巻きずれの原因になります。



<コットンブル、プルハンドルをオプション選択した場合>

- ①プルコードサポートのA部分をウェイトバーの下部の溝にはめます。

※必ず幅方向の中央に取付けてください。中央以外に取付けると巻きすれの原因になります。



上図のように正しく取付けているかご確認のうえ、ご使用ください。

- ②プルコードサポートを下から押さえながら、「カチッ、カチッ」と2回音がするまで強く押し込みます。

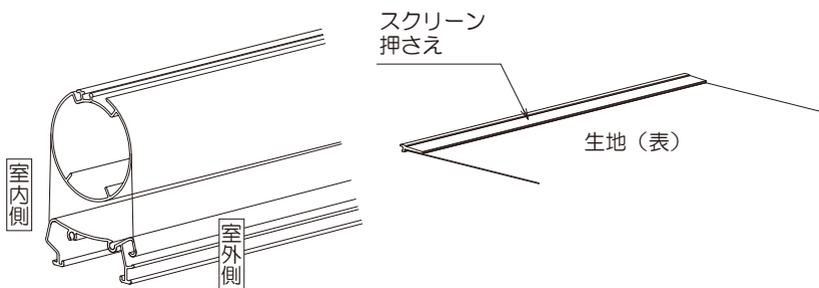
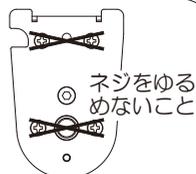
- 3) 取付け方向を確認します。

- ・製品本体を下図のように、逆さにして室外側が手前になるように置きます。
- ・生地は表（室内側）が上になるように置きます。



**注意**

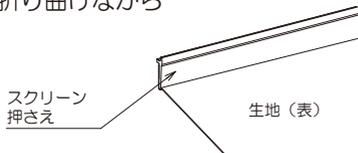
サイドブラケットのネジをゆるめるなどして外すことは絶対にしないでください。ネジをゆるめると製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



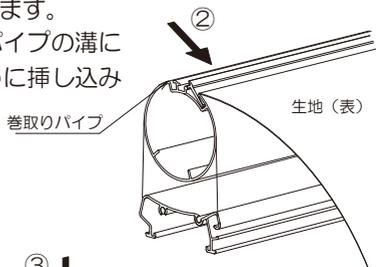
※図はシールドなし

4) スクリーン押さえを巻取りパイプの溝にはめ込みます。

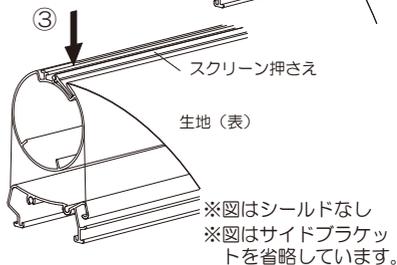
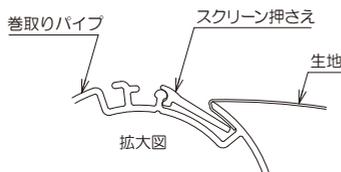
①スクリーン押さえのところで  
折り曲げながら



②巻取りパイプの溝に  
図のように挿し込み



③スクリーン押さえを押し込みながら  
パイプの溝にはめ込みます。



5) 製品本体の側面に挿し込んでいた六角レンチを抜いてください。

(プルコード操作・ワンタッチ操作のみ)

※六角レンチを抜いた時に、生地が急に巻き取られることがありますので、必ず巻取りパイプを手で押さえ、巻き取られない状態で六角レンチを抜いてください。

6) サイドカバーまたはサイドブラケットカバーを取付けます。(17ページ参照)

7) 生地を巻取りパイプに巻き取ります。

### ●プルコード操作の場合

①パイプを回転させてストッパーを解除します。パイプの自動回転を利用しながら、少しずつ生地を巻き取ってください。

※ストッパー解除後は、ウェイトバーを持ちながら、ゆっくり生地を巻き取ってください。

②製品の向きを確認し、製品を取付けブラケットに取付けてください。(9ページ参照)

### ●チェーン操作・ワンタッチ操作の場合

①製品の向きを確認し、製品を取付けブラケットに取付けてください。(9ページ参照)  
※生地がしわにならないように注意して取付けてください。

②製品を操作して生地を巻取りパイプに巻き取ります。(13ページ参照)

※しわが出た場合は、生地をしわが出ない位置まで引っ張り、再度巻き取ってください。

※何度か昇降し、巻きずれが発生している場合、付属の巻きずれ調整シールにて調整してください。調整方法はシールをご覧ください。

# お手入れのしかた

- 日頃のお手入れは、ハンディモップ等でほこりを取り払ってください。その際、折ったり曲げたりするとシワが付き、痕が残りますのでご注意ください。
- 水拭き可能な生地の場合、水または中性洗剤を含ませた布を絞り、汚れた部分をやさしく拭き取ります。強く拭き取ると生地が変形する恐れがあります。その後必ず水拭きをしてください。
- 水拭き可能な生地の場合、消毒用アルコールや次亜塩素酸水を吹きかけた後はきれいな柔らかい布で拭いてください。表面に消毒用アルコールや次亜塩素酸水が残らないようにしてください。

## こんなときは

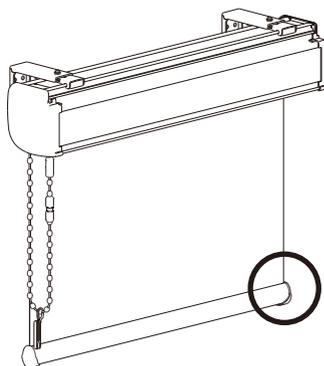
症 状	原 因 と 処 置
生地が巻取りパイプにきれいに巻き取られない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 取付け面が水平になっていない可能性があります。フレームが水平になるように取付け面を調整してください。</li><li>• プルコードを真下に引いていない可能性があります。プルコードはウェイトバーの中央部に取付け、真下に引いてください。</li><li>• 生地の伸縮等の可能性があります。付属の巻きずれ調整シールをシールに記載の説明にしたがって取付けてください。</li></ul>
生地の端部がほつれてきた。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 生地がサイドブラケットに当たっている可能性があります。巻取りパイプにきれいに巻き取られるよう調整した後、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。</li></ul>
巻取りスピードが弱い。	<ul style="list-style-type: none"><li>• スプリングモーターの力が弱い可能性があります。16ページの巻取りスピードの調整のしかたにしたがって、スプリングモーターを強方向にまわして、巻取りスピードの調整をおこなってください。</li></ul>
巻取り操作が重い。 (チェーン操作)	<ul style="list-style-type: none"><li>• スプリングモーターの力が弱い可能性があります。16ページの巻取りスピードの調整のしかたにしたがって、巻取りスピードの調整をおこなってください。※製品幅2705mm以上の場合には調整はできません。</li></ul>
生地のにおいが気になる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 生地の素材によりにおいを感じる場合があります。換気をおこなってください。</li></ul>
操作時にがたつく。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 正しく取付けられていない、又は製品が外れかかっている、又は部品が破損している可能性があります。製品落下の恐れがありますので、すぐに使用をやめてください。取付けブラケットを確認し、製品の取付けかた(8～11ページ)に従って、正しく取付けてください。操作時にがたつきがないことを確認できましたら、ご使用いただけます。がたつきが解消されない場合は、お買い上げいただいた販売店に速やかにご連絡ください。</li></ul>

※お取り替え用の生地もご用意しています(有償)。ご購入の際は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

# メンテナンスシールのみかた

製品には、その製品の生地No.、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けてあります。修理や部品交換等のお問い合わせの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。  
お問い合わせの前に、あらかじめご確認ください。

## 【メンテナンスシール貼付場所】

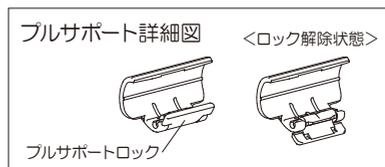
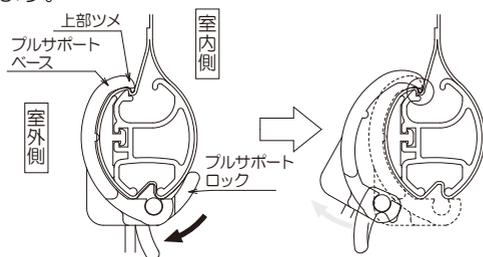


製品正面から見て  
ウェイトバーの右側裏面

## 「ウェイトバー袋縫い」の場合のご確認方法

「ウェイトバー袋縫い」の場合はウェイトバーが筒状になった生地の中にあり、メンテナンスシールは直接ご確認くださいませません。以下の手順でウェイトバーを生地から抜き出してお確認いただくようお願いいたします。

- ①プルコード操作をご使用の場合は下図の通り、プルコードサポートを外してください。室内側についているプルサポートロックを押下げ、プルサポートベースを後方に外します。

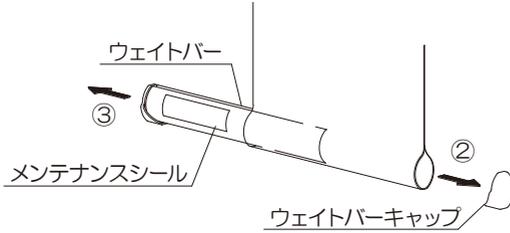


※コットンブル、プルハンドルの場合は、27ページをご確認ください。

- ②製品正面から見て左側（製品裏面から見て右側）のウェイトバーキャップをウェイトバーから外してください。

# メンテナンスシールのみかた

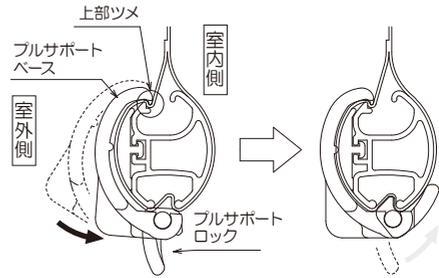
③製品正面から見て右側（製品裏面から見て左側）からウェイトバーを15cm程度生地から抜き出していただくとメンテナンスシールが露出します。



メンテナンスシールのご確認後はウェイトバーを元通り、生地には差込み、外したウェイトバーキャップをウェイトバーに取付けてください。

④プルコード操作をご使用の場合は下図の通り、プルコードサポートを取付けてください。

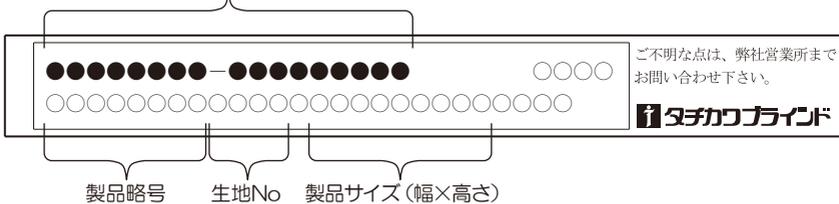
プルサポートベースの上部ツメをウェイトバーの室外側上端に引掛け、手前に引き、室内側にあるプルサポートロックを押上げます。  
 ※プルコードサポートは必ず幅方向の中央に取付けてください。中央以外に取付けると巻きずれの原因になります。



※コットンプル、プルハンドルの場合は29ページをご確認ください。

## 【メンテナンスシール記載内容】

お問い合わせの場合は、この●部18桁（「-」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。



# 保証とアフターサービス

---

## 〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、商品の引渡し日より3年間は無料にて修理をさせていただきます。（生地部は対象外）但し、「コード類」につきましては、無償修理期間を商品の引渡し日より1年間とさせていただきます。

外観不良につきましては、商品の引渡し後7日以内にお申し出ください。

※次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。

- 取付上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
- 機能喪失を伴わない意匠劣化。（さび、樹脂部分の変質、変色、塗装の退色、かびなど）
- 天然素材の特性による現象。（例 木部の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜けなど）
- 建築躯体の変形など製品以外に起因する不具合。
- 天変地異(火災、地震、水害、落雷等)による故障及び損傷。
- 特殊環境(極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等)による損傷。

※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申しつけください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

その他、ご不明な点・お問い合わせ等は、以下のいずれかの方法からお願いいたします。

- お電話にて（フリーダイヤル）**0120-937-958（お客様相談室）**  
受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00（土日・祝祭日、夏季休暇、年末年始等のぞく）
- インターネット（ホームページ）にて  
<https://www.blind.co.jp/contact/>

# 立川ブラインド工業株式会社

本社：〒108-8334 東京都港区三田3丁目1番12号 TEL. 03-5484-6100 (大代表)  
ホームページアドレス <https://www.blind.co.jp/>

リサイクル適性<sup>®</sup>  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。



2021.09  
947778